

## 消防団員確保に向けたアンケート結果報告（一般市民用）

一般市民を対象に行った、消防団員確保に関するアンケート結果についてご報告します。

回答数は97名でした。

まず、消防団の認知度については、問4の羽島市消防団を知っていますかの問いに、92%の方が消防団を知っていると回答しており、消防団の存在そのものは市民にしっかり認識されています。

また、問6の消防団の良い印象としては、地域貢献ができる、災害に備えられる、仲間を作ることができるといった声が多く、消防団の役割や意義は高く評価されていると感じました。

一方で、問9の消防団員になりたいですかの問いには、61%の方が入団したくないと回答しています。

その理由として最も多かったのが、問7の消防団に入りづらい印象の結果にあるように「休日の自由がなくなる」「忙しそう」「厳しそう」といった、時間や生活への影響に対する不安でした。

また、問10の今の消防団をどのように変革したら入団したいと思えるかの問いには、操法大会や操法訓練の廃止・見直し、訓練時間や回数の改善を求める声が多く、団員アンケートで出た意見と非常によく一致しています。また、その他の意見の中には、イメージの改善や活動内容の公開、消防団員の採用方法を改善する声も多くありました。

その一方で、問13のどのようなイベントや講座なら参加したいかの問いには、防災訓練や救急講座、消防団活動が分かるイベントには参加してみたいという声も多くありました。

以上のことから、

消防団の必要性は理解されているが、活動のイメージや負担感が、入団の大きな壁になっていると考えられます。

今後は、活動内容の見直しとともに、無理なく関わられる消防団の姿を、市民に分かりやすく伝えていくことが重要であることがわかりました。

（アンケート結果をもとに【ChatGPT】により集約し、作成しました）